

新年のごあいさつ



越前町長

内藤 俊三

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、輝かしい新年をご健勝でお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

また、旧年中は、町政推進に対しまして、ご支援とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、2月の37年ぶりの大雪に始まり、西日本豪雨や台風21号などの大型台風の影響など、自然災害が多く発生いたしました。町内では人命にかかわる被害はございませんでしたが、家屋等への被害で、ご苦労された方もおられました。改めて自然災害の恐ろしさ、防災体制の重要性を再認識したところでございます。

また、9月には、50年ぶり2巡目の第73回国民体育大会（福井しあわせ元気国体）が開催され、本町におきましては、高岡宮絢子女王殿下ご臨席の元、ホッケー競技会が開催され、成年男子が、2連覇を達成し、少年女子は、初優勝に輝くなど、50年ぶりの天皇杯獲得と初の皇后杯を獲得し、福井県の成績に大きく貢献し

たところでございます。

会場では、町民の皆様はもとより、県外からお越しのお客様も一緒になり、競技会を盛り上げていただき、この間、大会運営にご協力いただきました関係者の皆様には、大変お世話になりました。「ホッケーの町 越前町」が、全国に発信され、PRでき、さらにこの大会が滞りなく終了できましたことは、大変うれしく、かわられましたすべての方に対しまして、心より感謝申し上げます次第でございます。

本町におきましての大型事業といたしまして、昨年11月に江波区に完成いたしました越前町学校給食センターが、いよいよ今月上旬に町内小中学校等約2千人分の給食を一括調理し、配食を開始いたします。

また、新年には、役場庁舎の新築工事を開始し、平成32年度完成を目指してまいります。この間町民の皆様には、役場へお越しの際に、ご不便をおかけしますが、ご協力いただきますようお願いいたします。

さて、5月1日には、新天皇が即位され、新しい元号に変わります。国内では、来年、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、2025年には、大阪で万博が開催されることが決定されました。

また、県内のインフラ整備では、2023年春の北陸新幹線敦賀までの開業や中部縦貫自動車道の永平寺大野道路開通、国道417号冠山峠の着工など今後4年間で大きく交通体系は変化いたします。

今後は、関西圏や中京圏、さらに国内外などから観光客の増加が見込まれるため、この誘客のチャンスを活かし、「観光立町」を目指した観光産業の育成について、交流拠点施設再整備基本構想に基づき、剣神社周辺や陶芸村周辺などの再整備を戦略的に取り組んでいく所存でございます。

さらに、少子高齢化や人口減少対策、農林水産業や商工業など、地域産業の活性化もこれまでどおり引き続き、取り組んで参りますので、更なるご支援ご協力をお願いいたします。

年頭にあたり、町民の皆様のご健勝ご多幸を心からご祈念申し上げますとともに、本年も格段のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



越前町議会議長

北島 忠幸

明けましておめでとうでございます。町民の皆様におかれましては、ご家族お揃いで、輝かしい新年をお迎えのことと、謹んでお喜びを申し上げます。

また、日頃より本町の議会活動に対しまして皆様の温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

旧年は、50年ぶりに福井県での国体、福井しあわせ元気国体並びに障害者スポーツ大会の開催に、県下の官民がまともに、多くのボランティアの支えを得たことにより、大会は無事に成功を収めました。

また、本年4月末に退位を迎えられました天皇皇后両陛下を始め多くの皇族の方々のご来県ご視察を仰ぎ、私たち県民にとりまして、大きな喜びが記憶となったところであります。

国体競技では、本町が会場となったホッケー競技の県立、町立2つの人工芝ホッケー場にスタンドいっぱいのお客様が来場し、福井県チームは選手らのおんばりて天皇杯皇后杯共に第1位獲得を

成し遂げました。スタンドで観戦していたホッケーチームに所属する小中学生の夢や希望も、きつと大きく膨らんでいただろうと想像するところであります。

さて、昨年の国体・障スポの開催を機に、福井県は「障害のある人もない人も幸せに暮らせる福井県共生社会条例」を新たに制定しています。

それは、スポーツの素晴らしさや可能性を共有する機会となった大会開催を通して、福井県民の障がいについての理解促進と未来の共生社会の実現を意図するもので、相手を尊重し共に支え合い、生き生きとした人生を享受できる社会実現の目指す方向を示しています。

私たちも、この県条例に則して、障がい者への偏見や差別を取り除くために、理解を深め関心を払って行かなければなりません。

昨年、私たちは国体を開催することに専念しておりましたが、事業を機に何を将来に遺せるかも、開催すること以上に大切なことです。

今日の社会は、必要なモノやサービスは満たされ、自由で便利な生活ができるようになりましたが、その一方で、少子高齢化が進んだ地域の人口減、過疎化の課題や大きな自然災害への対策など課題の尽きることはありません。

町にとって、地域住民の生活を支えることが何よりも重要ですが、すべてを行政サービスで応えることは不可能であります。地域等が抱える課題の解決に、行政や事業者だけでなく住民の力が必要とすることが、これから多々出てくると思っております。

私たちも、国体の開催を支えていただいたような町民ボランティアや民間の力が、今後の地域課題解決の大きな力になることを期待しております。

本町議会におきましては、町民の皆様から信頼される議会を目指し、安心して幸せに暮らし続けられる町づくりに、議員一人ひとりが議会の使命と職責を認知し活動して参ります。本年も皆様からのご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

この新しい年が、皆様にとって実り多い年となりますことをご祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。